



吉子川

令和6年8月27日(火)
学校だより NO. 28
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸 美智子

【めざす児童像】

- あかるく たくましい子ども (体)
- やさしく おもいやりのある子ども (徳)
- めあてをもって がんばる子ども (知)

今月のいきいき中島っ子 学びの十か条

(8月)

本を読んで心に栄養

めくるページ広がる想像力

◇ 子どもを大切に思う思い… それぞれの立場で それぞれの役割で… ◇



2学期初日、久しぶりに登校してきた子どもたちは、すぐさま発見しました。**下駄箱にシューズトレイ**が用意されていることを…。そして、昇降口には次のような声が飛び交いました。

「入れやすい！」

「見た目もそろっていてかっこいい！」

「これなら土や砂がこぼれない！」

「お掃除が楽になる！」

など、大喜びの子どもたちでした。

1学期までは、トレイなしでしたが、事務の神山先生が、夏休み中にコツコツと準備してくださったのです。吉子川小学校の下駄箱の規格に合うこと、全員分を予算内で購入できることなど数々の条件をクリアするものを、妥協せず探し出してくださいました。

そして、一人一人のトレイに名札をつけ、子どもが使いやすいようにしてくれました。併せて、**昇降口の玄関マット**も砂が落ちやすい物に新調してくださいました。皆さんご存じのように、本校の校庭の土は、雨が降るとぬかるみやすく、昇降口が土だらけになることもしばしばなのです。**「教育環境を整えたい」、「子どもたちにとって学校生活が快適なものになるよう、できることから改善したい」と頑張ってくださいました。**「子どもたちが喜ぶ姿が、何より嬉しい」と神山先生はおっしゃっています。

こちらは、養護教諭福田先生です。

「むし歯未治療0」「肥満解消」「朝食を見直そう週間」など、子どもたち自身が自分の心と体の健康について興味関心を高め、進んで改善できるような取り組みを行ってくれています。看護師の資格を有する福田先生ですので、けがや病気に対する適切な処置はもちろんのこと、一人一人の子どもたちを我が子のように見守ってくださいています。



吉子川に来てはじめてのうちは、大きなけがではないけれど、けがで来室する子が多い学校なのかなと心配に思っていました。それが7月に入ってから少しずつ、けがをする子が減ってきました。

また、6月に朝食を見直そう週間を行ってからは、すべての学年で朝ご飯を食べるようになりました。朝ご飯を食べることで元気が出て、集中力も上がり、けがも減る…とてもよいサイクルです。保護者の皆様、毎朝の朝食準備、本当にありがとうございます。

「せいかく2学期になったから、朝ご飯 食べてきたらいいべした♪」